

大御心に恐懼感激

陸軍航空軍 山縣侍從武官を御差遣
司令部に

日本軍攻勢に轉じ

各飛行場を奪回

表公の側敵

ニューギニア 敵の抵抗を撃破
ニューブリテン

マキン島敵飛行場爆撃
海軍航空隊はマキン島の敵飛行場を爆撃し、敵機を破壊した。

タラワ米陸地も爆撃
米軍はタラワ島の米陸地を爆撃し、敵の陣地を破壊した。

日本軍恐るべし

戦く反軸軸軍將兵

出撃を待つ陸軍の勇士達



戦局刻々苛烈化する

一ツライ 獨ソの大決戦續く

獨一舉に覆滅せん

米英第二戦線を策謀

獨軍必死の反撃

トニブル 獨逸部の戦況

内地から○千名を

鮮内各工場に移駐

輕金屬増産へ初の試み

物力増強に總努力

焦眉の急務務管理

東亞に還る上海

多難二年心の米英拂拭

祖國解放に挺身

ホー・スリット列の訓示

打撲 捻挫
ピエスゲン
冷温自在
効果優秀
用途多岐
便、簡便

腸疾患者に
ビオフェルミン
ヒオフェルミンは、
力なる乳酸菌を
含有する上に
消化剤の二種
配し服用し、
しかも、その
作用は各腸に
特に小腸下腸、
便、簡便に
効を奏す。

胃腸に
キリン
大塚製薬株式会社
本社：東京都千代田区千代田
支社：大阪府大阪市東区東

磨歯ラカ
新に
決勝へ

ミンレーラム
主婦は
鉄後の固めです
日本の賢出し
水仕事
ひび、あかしの
心
ミンレーラム
九十九
十

保確の力働
主婦は
無缺勤
食物の消化吸収力をよくし
體力の新作を促し疲勞倦怠
を後復して、決戦下の増産
能率を振起し！
仁丹
家庭に
恩問に

絶対期日に遅るな

光榮燦たる譽れの入營日



入營日、即ち入隊の日。これは、若者の人生に於ける最も重要な日である。この日を期して、国家に奉仕し、光榮燦たる譽れを得る。...

強兵への基盤固む

體位向上に漲る白聖殿

白聖殿、即ち白雲山。この山は、強兵の基盤を固めるための重要な場所である。...

決戦訓



長瀬副官の肖像

決戦訓、即ち決戦の訓。これは、戦場の厳しさを伝えるための重要な訓である。...

之で勝つ

半島婦人よ盡忠に徹せよ

之で勝つ、即ちこの方法で勝つ。半島婦人よ、盡忠に徹せよ。...

身分は消滅しない

その期間の勤続年限も通算

身分は消滅しない、即ち身分は消滅しない。その期間の勤続年限も通算。...

北の護り固し



北の護り固し、即ち北の護りを固める。...

一突必殺の氣魄

鍾路署毎日木銃で練成

一突必殺の氣魄、即ち一突必殺の氣魄。鍾路署毎日木銃で練成。...



威冒に注意し

威冒を生活に活用

威冒に注意し、即ち威冒に注意し。威冒を生活に活用。...

白系露人兄弟の赤誠

白系露人兄弟の赤誠、即ち白系露人兄弟の赤誠。...

大和水軍

(88) 村松良代

大和物語

大和物語

大和物語

大和物語

大和物語

大和物語

大和物語

大和物語

大和水軍、即ち大和水軍。...

大和水軍、即ち大和水軍。...

大和水軍、即ち大和水軍。...

大和水軍、即ち大和水軍。...

大和水軍、即ち大和水軍。...

大和水軍、即ち大和水軍。...

大和水軍、即ち大和水軍。...

大和水軍、即ち大和水軍。...

大和水軍、即ち大和水軍。...

大和水軍、即ち大和水軍。...

大和水軍、即ち大和水軍。...

大和水軍、即ち大和水軍。...

大和水軍、即ち大和水軍。...

大和水軍、即ち大和水軍。...

大和水軍、即ち大和水軍。...

大和水軍、即ち大和水軍。...

大和水軍、即ち大和水軍。...

大和水軍、即ち大和水軍。...

大和水軍、即ち大和水軍。...

大和水軍、即ち大和水軍。...

大和水軍、即ち大和水軍。...

大和水軍、即ち大和水軍。...

大和水軍、即ち大和水軍。...

大和水軍、即ち大和水軍。...

生

介遇下木の、港く咲花！
 ！姿映色異つ故々又が

四十日切封

(東京)
 中央
 東宝
 劇場

型破りの
 奇抜な面
 白傑作

孫

上原 山陽 河村 河村 河村
 原 保 繁 繁 繁
 川 俊 美 美 美
 野 徹 子
 河野 徹 子
 萬能 斎ノ大
 上原 謙の孤快
 な快活
 開卷望頭若
 の度顔をぬく
 毛色のまつた
 面白

松竹 映快 作

捧げたるもの片眼片腕

神宮大前に誠忠歌奉告

[illegible]

鐵の意思で買け

簡牛こ征こく日こ近こき學兵を激勵

[illegible]

即刻兵器増産へ

斷乎叩きつゝせ鬼畜の反攻

[illegible]

決戦増産の第一線を行く
(2)

【最事にて金元特派員】は、我輩は益々勇躍して奔れ、金貨もたつてゐる。

敵斃す七割の威力

科學決戰の寵兒
マクネ
サイネ



少壯有爲の武人

感狀に輝く前田大尉

[illegible]

軍屬の乙女出發

十日、舞鶴高女生運動會



大相撲春場所 第二日

羽黒に黒星

[illegible]

製和中の症を癒す薬など、国産の病薬
用・ワシ・ガ性・イロ・るす・有・用・作・る・

クルカオビ

11

本本

めでたきものは一八六〇年

THE OCEANOGRAPHIC LITERATURE

[illegible][illegible]

ENTER, HERE

THE UNIVERSITY OF CHICAGO

THE

毛深
 治一切瘡毒
 此藥專治一切瘡毒，無論新舊，一搽即愈。每瓶售價大洋一角。

參茸上三指腸丸
 治一切虛損
 此丸專治一切虛損，如氣血兩虧、精神不振、腰酸背痛等症。每瓶售價大洋二角。

女性每月
 治一切月經不調
 此藥專治女性月經不調，如經閉、經痛、經水過多等症。每瓶售價大洋一角。

遺精
 治一切遺精
 此藥專治一切遺精，如夢遺、滑精、早洩等症。每瓶售價大洋一角。

可樂
 治一切咳嗽
 此藥專治一切咳嗽，如傷風咳嗽、肺癆咳嗽等症。每瓶售價大洋一角。

總成辦貨員募集
 本公司因業務擴展，現特招收總成辦貨員若干名。凡有志於商業者，請速來函索取簡章。

三國石炭工業株式會社
 本公司經營石炭採掘及銷售業務，現正積極招募技術人員及勞務員。

京城職業紹介所
 本所為協助求職者就業，特設職業介紹服務。歡迎各界人士前來諮詢。

募集
 本公司現正募集資金，以擴大生產規模。凡有意投資者，請洽本公司財務部。

技術人員
 本公司因技術需要，現特招募技術人員若干名。凡具有相關專業背景者，請速來函。

勞務員
 本公司因業務需要，現特招募勞務員若干名。凡身體健康、勤勞肯幹者，均可應聘。

第一期決算報告

（昭和五年四月三十日）

（昭和五年四月三十日）

（昭和五年四月三十日）

（昭和五年四月三十日）

（昭和五年四月三十日）

（昭和五年四月三十日）

（昭和五年四月三十日）

（昭和五年四月三十日）

（昭和五年四月三十日）

（昭和五年四月三十日）

（昭和五年四月三十日）

（昭和五年四月三十日）

（昭和五年四月三十日）

（昭和五年四月三十日）

（昭和五年四月三十日）

（昭和五年四月三十日）

（昭和五年四月三十日）

第二回 日本新聞公債
 募集 第十期 十日
 (募集額 一萬一千七百五十圓)
 日本新聞社 發行
 東京 日本新聞社 發行
 大阪 日本新聞社 發行
 神戶 日本新聞社 發行
 横濱 日本新聞社 發行
 名古屋 日本新聞社 發行
 京都 日本新聞社 發行
 福岡 日本新聞社 發行
 仙台 日本新聞社 發行
 青森 日本新聞社 發行
 岩手 日本新聞社 發行
 秋田 日本新聞社 發行
 山形 日本新聞社 發行
 宮城 日本新聞社 發行
 福島 日本新聞社 發行
 茨城 日本新聞社 發行
 栃木 日本新聞社 發行
 群馬 日本新聞社 發行
 埼玉 日本新聞社 發行
 千葉 日本新聞社 發行
 東京 日本新聞社 發行
 神奈川 日本新聞社 發行
 新潟 日本新聞社 發行
 富山 日本新聞社 發行
 石川 日本新聞社 發行
 福井 日本新聞社 發行
 山梨 日本新聞社 發行
 長野 日本新聞社 發行
 岐阜 日本新聞社 發行
 愛知 日本新聞社 發行
 三重 日本新聞社 發行
 滋賀 日本新聞社 發行
 京都 日本新聞社 發行
 大阪 日本新聞社 發行
 兵庫 日本新聞社 發行
 奈良 日本新聞社 發行
 和歌山 日本新聞社 發行
 鳥取 日本新聞社 發行
 徳島 日本新聞社 發行
 香川 日本新聞社 發行
 高松 日本新聞社 發行
 愛媛 日本新聞社 發行
 高知 日本新聞社 發行
 福岡 日本新聞社 發行
 佐賀 日本新聞社 發行
 長門 日本新聞社 發行
 大分 日本新聞社 發行
 熊本 日本新聞社 發行
 鹿兒島 日本新聞社 發行
 沖縄 日本新聞社 發行

肩こり
 足腰の痛み
 打身くじき

痛くても
 貼るだけで
 めが良くなる
 人にもすてに
 書打身くじき

痛地
 ネツン

高井兵三郎

京畿産業聯合社

百歳樹納入

本校主母長久保氏生後、病氣癒癒中の様
類石の効効々々、去る八月八日午前十二時
御逝去に付、後儀は學校葬を以て左記の通

[illegible]

實踐で體當りだ

常會に烈々の訓示



長部 俊蔵

（以下、記事本文）

征く身へ温さ手

陸軍一隊の軍國美談

（以下、記事本文）



我をば



モふ戦

自發第二期献納

大町市二丁目町會（の）

（以下、記事本文）

（以下、記事本文）

學徒特別志願

兵兵師範會

（以下、記事本文）

武進格口

西大町

（以下、記事本文）

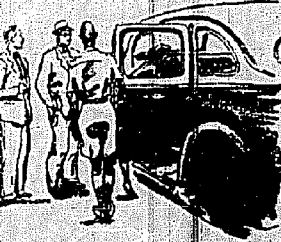
精神講話

南町

（以下、記事本文）

マクニールで
虫を下しませう

椰子 (147) 海野十三 (作)
村上松太郎 (編)



學兵を出した
家庭を訪ねて

（以下、記事本文）

理科養榮の冬

（以下、記事本文）

（以下、記事本文）

（以下、記事本文）

他臓強化に
救心

（以下、記事本文）

（以下、記事本文）